



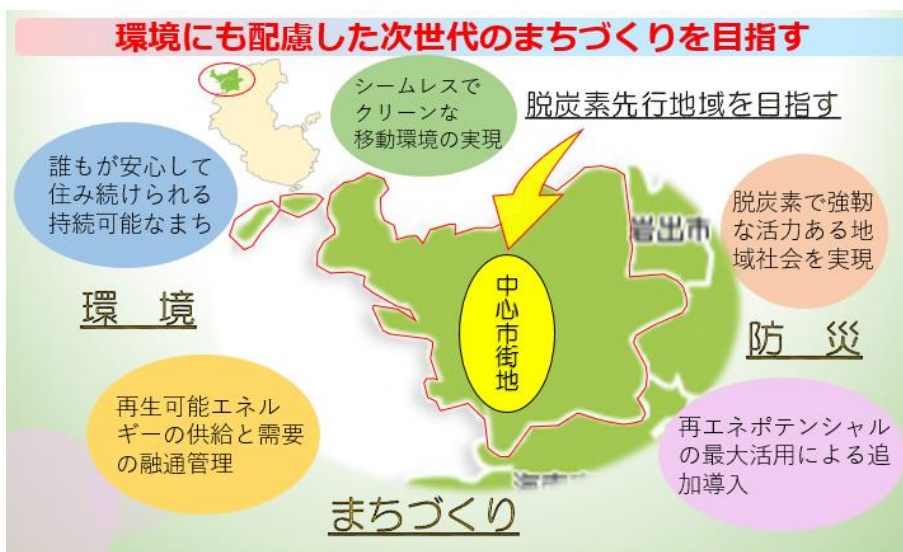
令和4年5月12日

担当課	一般廃棄物課
担当者	森本・根来
電話	(073)435-1352
内線	2663

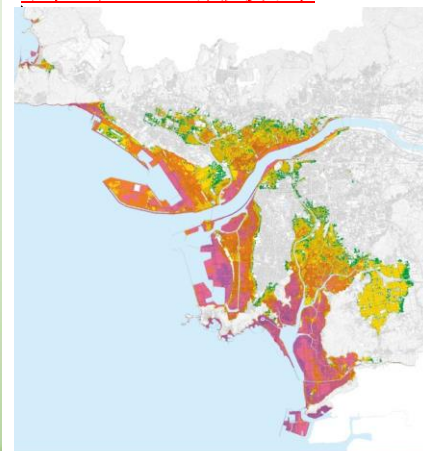
脱炭素先行地域に向けたプロジェクトチームの設置について ～水と緑を活かした環境コンパクトシティ～

現在、国は2050年温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す。」を宣言しており、2030年度には温室効果ガスを2013年度比で46%削減することを目指しています。

そこで、本市としてはこれまで全国初、下水汚泥バイオマスからの電力創造システムの取り組みや太陽光発電の導入などに取組んできましたが、さらなる高みを目指すため防災レジリエンスとコンパクトシティを兼ねた脱炭素社会を推し進め、一部地域では脱炭素先行地域として2030年電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロを目指すなど、事業計画を強力に進めるプロジェクトチームを設置します。



津波浸水想定（南海トラフの巨大地震）
市域の約18%が津波浸水域



プロジェクトチームの発足について

- 発足日
令和4年5月18日（水）
- プロジェクトチームの名称
「脱炭素先行地域推進プロジェクトチーム」
- プロジェクトチーム長 市長
- プロジェクトチームの構成
環境政策課・一般廃棄物課・青岸清掃センター・企画政策課・総合防災課・管財課
河川港湾課・都市再生課・交通政策課・教育施設課・公共建築課
- 主な事業内容
・脱炭素先行地域づくり事業 計画策定・実施

今後の取組み案

EVパッカーの導入



太陽光・蓄電池導入



導入目標 1,000kW

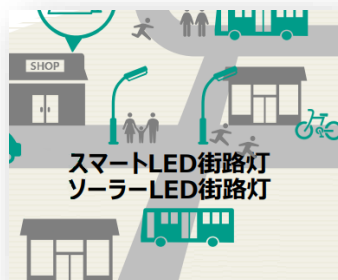
EVバス運行



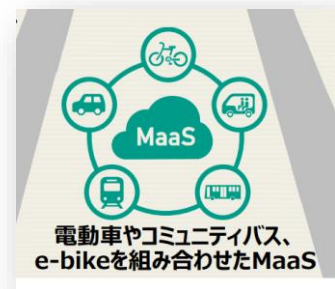
カーポートソーラー・充電設備 公用車カーシェアリング



防犯灯 (スマートLED)



MaaS



参考:これまでの先駆的な取組み

脱炭素への取組み

☆日本初の取組み



下水汚泥バイオマスからの
電力創造システム



太陽光発電
(屋根貸し事業)



営農型ソーラー
シェアリング

コンパクトシティでの成果

都市再生推進法人
指定団体数 12 団体 国内 第1位

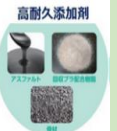
第3回コンパクトなまちづくり大賞
☆国土交通大臣賞 受賞(最高賞)



和歌山市×SDGs

再利用 企業連携

海洋プラスチックごみの製品化を目指す取組



海洋プラスチックを再生樹脂に
加工し、道路用高強度剤など
様々な製品への活用方法を検討
※花王(株)との連携